

Therapy and care

# KIHARA STYLE

新杉田医院が医療法人社団木原会の第1号医院として開院より22年。  
 医院の老朽化の為、開院から数えて3度目となる改装工事が1月9日より開始されました。  
 改装に伴い、多くのお客様にご不自由・ご迷惑をお掛けしましたことを  
 深くお詫び申し上げます。

## 新杉田医院改装工事完了

スペースの問題があり、辻堂のタッグンタリクリニックや東戸塚医院のような個室対応は出来ませんが、  
 改装後の新杉田医院はスペースが狭いながらも、皆様に今までよりも快適にすごしていただける  
 空間を考え、改装させていただきました。皆様に「明るくなった」とのお言葉をいただき、  
 スタッフ一同、大変うれしく思っております。

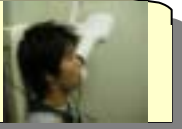
尚、24時間診療が東戸塚医院へ変更になりました関係で、新杉田医院の診療時間を朝10時  
 から夜8時に変更させていただきました。ご了承いただきますようお願いいたします。



改装が終了した新杉田医院

気になる

レントゲン



社説

24時間診療の成果

タッグンタリクリニックでは、開院より導入してはいましたが、  
 12月開院いたしました東戸塚医院・改装工事が終了  
 いたしました新杉田医院もデジタル式のレントゲンを  
 導入いたしました。

デジタル式の最大の利点は、従来のフィルム式に比  
 べ、約10分の1の照射量でレントゲンを撮ることが  
 可能なことです。この量は自然放射線とほぼ同じ線量  
 と考えていただくとよいかと思います。

歯科のレントゲンは内科などで用いるレントゲンに  
 比べ、照射量がかなり少ないのですが、更に少なくな  
 ったわけです。フィルム式の歯科のレントゲンで、約  
 11万枚を撮ると被爆による副作用症状が出ると云  
 われていますが、デジタル式なら約110万枚まで大  
 丈夫ということになります。

一生涯で、これだけのレントゲンを撮ることはないで  
 しょうから、どうぞご安心くださいませ！！

木原会はこれからもお客様の安心・安全につながるこ  
 とに努力してまいります。



昨年4月1日に新杉田医院(現在東戸塚医院)で開始した24時間診療、実に多く  
 の方々に利用していただきました。昨年4月から本年2月までの10か月の間に2  
 4時から翌日8時までの受診者数は2560名(1日平均10名)に上りました。  
 24時間眠らない社会に変貌しつつある社会背景の中、24時間対応型医療の必要  
 性を感じるも、歯科の24時間を標榜している医療機関は全国で当医院のみという  
 現状に、疑問を感じ、少なくとも各市に1医院位の配置の必要があると実感。何故、  
 医療機関の24時間診療の実施が行われないかを検証した。

### 24時間診療の実施に伴う不採算

歯科医師1名・アシスタント1名・受付1名を常時配置、1か月にのべ90名のス  
 タッフ配置する必要がある。当然深夜手当等が付加金等の加算は一切認められず  
 医院の経営が困難。

### 関係官庁は歯科に於ける救急診療の必要性を感じていない

歯痛で生命に関わることはない、翌日まで我慢すればすむ事。という回答。

### 深夜利用者の治療の困難性。昼と深夜では治療の内容が大きく異なる

深夜は骨折・裂傷など救急を要する治療が多く、熟練を要する歯科医の配置が必要  
 のため、経験の浅い歯科医師では対応が困難。

### 深夜利用者の偏り

深夜診療のピークは午前3時までで、その後の利用は少ない。平日よりも他の医療  
 機関が休診している木・土・日曜日に集中。特にGWや盆・年末年始の利用が非常  
 に多い。平日の利用は比較的少ないにも関わらず眠らず待機する従事者の疲弊は想  
 像を絶する。

などなど、24時間診療環境は厳しさを感じざるおえない。今後、安心して生活出  
 来る環境を整えるには更なる関係官庁の理解と他の医療機関の協力が必要不可欠  
 と感じています。

医)木原会 理事長 木原和喜談



最終回は金属に置き換わった物から仕上げまでの行程を順番にご紹介いたします。



\* 余分な金属をカットします。

\* 模型に合わせ適合を確認します。

\* 隣の歯との幅を合わせます。

\* かみ合う歯との高さを合わせます。



\* 被せ物の溝を磨きます。

\* 金属全体を磨きます。

\* ブラシに研磨剤をつけて光らせます。

\* 完成しました！！

4回にわたり歯科技工士の仕事一部をご紹介致しました。私達は皆様のお口の中に入る様々な物を作成しております。お楽しみいただけましたでしょうか？これからも皆様にご満足いただけるように頑張ります。

## なぜなぜ何で？

お客様の目の前に、パソコンの画面があるのは何で？

私達は、お客様から頂いた大切な資料をもとに治療を行っていますが、このデータは私たちだけが理解できればいいというものではありません。治療を提供する側・受ける側という立場に分かれてしまいが、一方的に進めるのではなくお互いがよく理解し納得しなければなりません。そのためには、より明確なレントゲンや写真を使い共に診断していくことはとても重要です。現在使用しているパソコンは従来のものに比べ、より鮮明に速く状態を把握できるようになりました。

このようなデータを参考に十分に話し合い、お客様に満足して頂ける医療を提供できるようにこれからも努めてまいります。



## ユーグレナ

日本では生活習慣病が大きな課題となっておりどちらかといえば「食事」に対しては、セーブする・コントロールするといったイメージが強いかと思います。



しかし、世界に目を向けて見ると8人に1人は飢餓状態にあり貧困で苦しんでいます。この状況に多くの国が援助や対策をとっていますが、飢餓状態にある国は政治自体が腐敗していることも多く残念ながらこのような取り組みがうまくいきません。

**ユーグレナ**とは、植物と動物の中間の生物（食用ミドリムシ）です。動きまわる一方で、葉緑体ももっているので自ら光合成もできます。そして、人間の必要な栄養をほとんど作り出せる**完全栄養食**になりうる生物です。酸素と水があれば作り出せることから、この微生物で世界の貧困で苦しむ人々を少しでも助けることができるかもしれないということです。

このプロジェクトを進めていたのは渦中の堀江貴文さんでした。人のためにはたらきかけること、またそれを継続する事は本当に難しいものだと感じました。どのような状況であれ、このような積極的な取り組みが続き成功すれば素晴らしいなあと思います。